

2005年6月30日
全国労働金庫協会

第69回通常総会および第2回全国労働金庫大会を開催しました

全国労働金庫協会は、6月29日、東京・ホテルラングウッドにおいて第69回通常総会および第2回全国労働金庫大会を開催しました。

1. 第69回通常総会

全国労働金庫協会の機能強化計画の成果を確認しました。

この機能強化計画は、「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム（金融庁）」に対応する形で、当協会が自主的に策定したものです。

2005年度スタートの第4期中期経営計画（別紙）を確認しました。

当協会は、1996年5月に「日本労働金庫」の創設を含む業態の基本方針を「ろうきん・21世紀の改革とビジョン」としてとりまとめました。以降3年を1期とする中期経営計画の中で、このビジョンの実現にむけて具体的な施策を策定・実行してまいりました。この第4期中期経営計画を、このビジョンの総仕上げのための実行計画として位置付けております。

業態積年の課題である「日本労働金庫」創設への取組みに関しては、新たな状況の変化も踏まえ、全金庫の十分な論議を経た上で、計画2年度目の2006年度にその基本構想の策定に着手することとしております。

役員体制は以下の通りです。

常勤役員は、以下の5名が再任されました。

理事長 岡田康彦
副理事長 藪内義弘
専務理事 鈴木英幸
常務理事 中島 努
常務理事 横山 豪



地球温暖化防止に向けた ろうきん 5R運動の取組みにあわせ、出席者はノー上着・ノーネクタイの軽装で参加しました。

2. 第2回全国労働金庫大会

昨年度より労働組合、労働福祉事業団体、金融機関団体等をお招きして全国労働金庫大会を開催しております。

大会では、理事長・岡田康彦が、総会で承認された第4期中期経営計画に基き「勤労者福祉金融機関としての存在感を確かなものとするため、勤労者の期待に応え、生涯のパートナーとして信頼され、選ばれる独自性のある事業を展開していく」ことを大会出席者に訴えました。

会員代表として連合（日本労働組合総連合会）所轄官庁である金融庁ならびに厚生労働省、日本銀行からの挨拶を受け、全国労金は、引き続き健全経営を堅持し、勤労者のための福祉金融機関として「労金らしさ」の発揮に向けて更なる努力することを改めて確認しました。



大会で挨拶する岡田理事長

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

社団法人全国労働金庫協会 総合企画部 TEL 03 - 3295 - 6735

担当：合併構想室 安藤 栄二（あんどう えいじ）